

HD

文化振興財団

経営状況説明書

公益財団法人浜松市文化振興財団の
令和8年度事業計画

目 次

	頁
1 令和 8 年度事業計画の概要	5
2 令和 8 年度予算の状況	47

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和8年度事業計画について

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和8年度事業計画を地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介

令和 8 年度

事業計画の概要

令和8年度 公益財団法人浜松市文化振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

令和7年度の社会経済は、前年度を上回る賃上げの動きが見られた一方、物価上昇の影響は依然として大きく、市民消費においては節約志向が続く状況となりました。今後も先行き不透明な経済状況が見込まれることから、引き続きコストと効率性を意識した運営に努めます。

当財団は、芸術文化活動を通じて人々の創造性の発揮に寄与するという使命を担っています。社会経済状況に左右されることなく、唯一無二の価値を提供し続けるため、選択と集中により、効果的かつ持続可能な事業展開を図ります。

令和8年度は、第13回浜松国際ピアノコンクール開催の前年度にあたることから、コンクールゆかりのピアニストの起用を積極的に進め、開催機運の醸成に取り組みます。また、令和9年度後半から予定されているアクティビティ浜松大・中ホール改修工事に伴う休館を見据え、計画的な運営準備を進めます。限られた条件の中でも本市ならではの長所あるオリジナル事業を企画し、「音楽の都・浜松」の一層の魅力向上を推進します。

施設運営面においては、改修工事の円滑な進捗に向けた支援に努めるとともに、利用者の安全確保と利便性の維持、施設情報の丁寧な周知に万全を期します。

今後も市民、市民文化団体、企業等との協力・連携を深め、多様な芸術文化活動を通じて生み出される価値を都市の活力へとつなげ、創造都市の具現化を目指します。

(1) 芸術文化振興への主な取り組み

ア 芸術文化公演の企画運営について

鑑賞型事業では、当財団の強みである音楽および舞台芸術分野の専門性を活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。

収支を的確に見極めつつ、他団体との提携等も活用し、クラシック音楽、オペラ、バレエ、演劇、ミュージカル、伝統芸能など多彩なジャンルの公演を展開します。

また、浜松国際ピアノコンクールゆかりのピアニストを積極的に取り上げた公演を企画し、コンクールを起点とした浜松独自の文化振興の好循環を形成します。

さらに、浜松ゆかりのアーティストや今後が期待される若手演奏家にスポットを当てた事業など、オリジナル企画の充実を図り、県内外からの集客拡大を目指します。

引き続き、財団が蓄積してきた人材・ネットワーク等の資産を最大限に活用し、浜松ならではの文化的魅力を広げ、都市ブランドの確立につなげます。

イ 芸術文化活動等の支援について

多様な市民文化団体や活動者が、芸術文化を通じて地域活性化や社会課題の解決に取り組める土壌づくりを進めます。市民主体の文化芸術活動をより活性化させるため、活動者が抱える課題に対し、新たな気づきや意欲向上につながる出会いや連携の機会創出に力を入れます。

これらの取り組みの一環として、浜松アーツ&クリエイション事業では、創造的な活動に挑戦する人材の発掘・育成・交流の支援を行います。

さらに、地域社会の活性化に向け、文化芸術が与える感動や共感の力により、人と人、人とモノ、人とコトをつなげ、そこから生み出される価値を可視化することで、市民のチャレンジ意欲を後押しします。あわせて、企業の事業展開における芸術文化の活用を提案していきます。

ウ 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

芸術文化の持つ効用を最大限に活かし、都市の活力向上と市民の誇りの醸成につながる事業を展開します。

浜松国際ピアノコンクール事業では、第13回コンクール（令和9年度）開催に向け、募集要項の発表や出場者募集等の準備業務を着実に進めます。また、基調デザインの制作等においては、地元アート分野との連携を図り、地域との相乗効果を意識した取り組みとします。

次代の芸術文化の担い手育成については、アクトシティ音楽院事業を中心に、浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）事業等と連携し、芸術文化に触れる機会の創出から世界で活躍する人材の輩出まで、未来の人材の育成に取り組みます。

また、中学校部活動の地域展開においても、関係団体等と連携した事業活動を進めます。

(2) 所管施設の運営

ア 指定管理施設の運営について

令和8年度は、9施設の管理を担います。

浜松市「文化振興ビジョン」に示された各施設の担う役割を認識し、指定管理者協定に基づく適正な管理運営を行います。あわせて、経済・物価動向を注視し、コストと効率性の意識を徹底した運営に努めます。

アクトシティ浜松では、Dゾーン研修交流センターの改修工事が令和8年8月末に完了予定であることから、改修後の施設機能を最大限に活かす運営体制と周知に努めます。

浜松市楽器博物館については、約7か月間の休館終了にあわせ、研究成果を反映した展示へとブラッシュアップします。

なお、浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）および浜松市天竜壬生ホールは令和8年度末に契約更新を迎えることから、運営コストを慎重に積算し、次期指定管理に向けた調整を進めます。

イ 施設の利用促進について

利用者にとって使いやすい施設であり続けるため、サービス改善と運用見直しに常態的に取り組み、利用者の満足度向上に努めます。

利用者との対話を重ね、ニーズを的確に把握し、目的達成に資する提案力の向上を図ります。また、アクトシティ浜松における大型コンベンション誘致については、浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携し、施設リニューアル後を見据えた誘致活動を継続します。

各施設が文化拠点としての役割を果たせるよう、利用者や地域関係者とのコミュニケーションを重視し、地域とのつながりを広げます。

(3) 法人経営計画

社会環境の変化に柔軟に対応できる組織づくりを進め、自ら考え創意工夫をもって行動する職員の育成を図ります。

令和8年度は特に情報分野に重点を置き、研修等を通じてデジタル環境に関する基礎知識やセキュリティ意識の向上を図り、デジタル対応力の強化に努めます。

また、中堅職員の専門知識や経験の継承に向けて、若手職員との協働機会を意図的に設け、計画的な次世代の人材育成とスキル向上を推進します。

(4) 財団の経営状況（資産と負債の状況）

次の表は、当財団の令和4年度末から令和6年度末にかけてのバランスシート（貸借対照表）です。

基本財産及び退職給付引当金は、全額特定の預金等で別に確保しているほか、支払能力を示す流動比率を200%以上に維持するなど、健全な経営状況にあります。

また、特定資産では、ピアノコンクール積立資産や文化芸術活動助成事業積立資産など、様々な芸術文化事業の実施や創造的な市民活動への助成に活用するための資産を準備しています。

今後も公益事業を継続的に実施していくため、引き続き経営努力を行います。

過去3年間のバランスシート（貸借対照表）比較

（単位：千円）

科目	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	増減 R5-R4	増減 R6-R5
I 資産の部					
1 流動資産（現金・預金ほか）	833,251	755,304	703,517	△ 77,947	△ 51,787
2 固定資産					
(1) 基本財産	2,139,769	2,139,769	2,139,769	0	0
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	264,830	293,622	321,028	28,792	27,406
事業基金	183,144	183,144	183,144	0	0
広域文化基金	8,119	8,119	8,119	0	0
ピアノコンクール積立資産	45,000	90,000	105,000	45,000	15,000
大型公演事業積立資産	41,000	51,000	131,000	10,000	80,000
仲道子供音楽事業資産	10,290	8,550	7,205	△ 1,740	△ 1,345
文化団体活動支援事業積立資産	2,233	-	-	△ 2,233	0
30周年記念事業積立資産	20,000	20,000	-	0	△ 20,000
文化芸術活動助成事業積立資産	-	25,000	22,523	25,000	△ 2,477
退職給付引当率増対策積立資産	-	49,700	45,921	49,700	△ 3,779
オークラ助成事業資産	-	-	750	0	750
運用財産積立資産	400,008	400,000	400,000	△ 8	0
(3) その他固定資産					
建物附属設備・什器備品等	89	36	950	△ 53	914
リース資産	32,178	26,451	35,978	△ 5,727	9,527
合計	3,979,911	4,050,695	4,104,904	70,784	54,209
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金・前受金・預り金	291,224	285,947	267,922	△ 5,277	△ 18,025
リース債務	12,059	8,919	12,081	△ 3,140	3,162
賞与引当金・役員賞与引当金	29,855	30,737	31,603	882	866
2 固定負債					
リース債務	20,374	17,826	24,270	△ 2,548	6,444
退職給付引当金	264,830	293,622	321,028	28,792	27,406
合計	618,342	637,051	656,904	18,709	19,853
III 正味財産の部					
1 指定正味財産（事業基金等）	193,434	191,694	191,099	△ 1,740	△ 595
2 一般正味財産					
(1) 基本財産充当額	2,139,769	2,139,769	2,139,769	0	0
(2) 特定資産充当額	516,360	643,819	712,563	127,459	68,744
(3) その他一般正味財産	512,006	438,362	404,569	△ 73,644	△ 33,793
合計	3,361,569	3,413,644	3,448,000	52,075	34,356

2 事業内容

(1) 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

ア 芸術文化公演の企画、運営及び提供

誰もが芸術文化のもたらす感動に触れられるよう、音楽文化をはじめ、オペラ、バレエ、演劇、ミュージカル、伝統芸能など、多彩なジャンルによる鑑賞機会を引き続き提供します。

また、浜松国際ピアノコンクール開催前年度に当たることから、過去の入賞者を活用した浜松独自の企画に注力し、県内外からのさらなる集客を図ります。これにより、浜松ならではの文化的魅力の発信を強化し、「音楽の都・浜松」としての都市ブランドの確立につなげます。

・アクト・ニューアーティスト・シリーズ

注目の若手演奏家によるシリーズ企画。第12回浜松国際ピアノコンクールで第3位となったピアニスト小林海都など4公演を開催します。

・アクト・プレミアム・シリーズ

世界的な名演奏家たちを招くコンサートシリーズ企画。次回第13回浜松国際ピアノコンクールの審査委員長を務める児玉桃がヴァイオリニスト、セルゲイ・ハチャトゥリアンとのデュオで登場するほか、鬼オヴァイオリニスト、ネマニャ・ラドウロヴィチのリサイタルなど5公演を開催します。

・大型公演事業

ハンガリー国立歌劇場の引っ越し公演となるオペラ「魔笛」、3年に1度の開催となる野村萬斎監修によりアクトシティ独自の演出でお届けする「アクトシティ能・狂言」、ロシアのバレエ団より選抜されたメンバーによるバレエ「くるみ割り人形」、世界各国で大ヒットを記録しているミュージカル「ミス・サイゴン」など、多彩なジャンルでの公演を開催します。

・浜松にゆかりのある音楽家を起用した演奏会

第10回浜松国際ピアノコンクール優勝者のジャン・チャクムルと、第12回コンクール第5位のコルクマズ・ジャン・サーラムによる、トルコ出身ピアニスト2名の2台ピアノ企画を開催します。

また、2024年の東京国際指揮者コンクールにおいて第3位および特別賞を受賞した吉崎理乃と、第12回浜松国際ピアノコンクール第2位のヨナス・アウミラーによる特別演奏会を実施します。

仲道郁代はデビュー40周年を記念し、リサイタル・シリーズに加え、浜松初公演となる東京都交響楽団との協演を行います。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)			
No.151 小林海都(ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	7/4	第12回浜松国際ピアノコンクール第3位入賞者による演奏。
No.152 水野斗希(コントラバス)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	11/7	第21回東京音楽コンクール弦楽部門第1位入賞者による演奏。
No.153 宮川春菜(ギター)		12/6	アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール(スペイン)第2位入賞者による演奏。
No.154 中野りな(ヴァイオリン)		3/14	第90回日本音楽コンクール第1位入賞者による演奏。 第8回仙台国際音楽コンクールでは、史上最年少となる17歳で優勝。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサート)			
Vol.43 ネマニャ・ラドゥロヴィチ (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 中ホール	6/30	驚異のテクニックと情熱的な音楽性で聴衆を熱狂させる鬼才ヴァイオリニストによる演奏。
Vol.44 児玉桃(ピアノ) & セルゲイ・ハチャトゥリアン (ヴァイオリン)		9/7	第13回浜松国際ピアノコンクール審査委員長に就任する児玉桃による浜松初となる演奏会。ヴァイオリンは世界各地で活躍中のハチャトゥリアン。
Vol.45 レ・ヴァン・フランセ (木管アンサンブル)		11/25	パユ(フルート)、ルルー(オーボエ)、メイエ(クラリネット)ら、スターソリストが集結した木管アンサンブル。
Vol.46 小曽根真 TRiNFIniTY ×アナ・マリア・ヨペック		12/15	小曽根真が若手俊英と結成した新トリオ、TRiNFIniTYとポーランドの歌姫、アナ・マリア・ヨペックの協演。
Vol.47 ニコライ・ルガンスキー (ピアノ)		2/16	偉大な「ロシア・ピアニズム」の正統派として、正確無比な演奏技巧と繊細な詩情を併せ持つ世界的に高く評価されているピアニストによる演奏。 主催:AMATI
KOKAMI@network vol.22 『トランス』	アクトシティ浜松 大ホール※	5/13	妄想をきっかけに、高校時代の同級生3人が再会する一国内外で多くの劇団が上演してきた鴻上尚史の代表作となっている傑作戯曲を、鴻上自身による演出で上演。 出演:風間俊介、岡本玲、伊礼彼方 共催:静岡第一テレビ
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル			
Vol.13 「音楽の哲学」	アクトシティ浜松 中ホール	5/30	浜松出身の日本を代表するピアニスト仲道郁代が、自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
Vol.14 「組曲～調和と心慮～」		10/4	
ハンガリー国立歌劇場 「魔笛」	アクトシティ浜松 大ホール※	6/24	「夜の女王のアリア」「おいらは鳥刺し」「くパ・パ・パ」の二重唱など聴きどころ満載のモーツァルトの傑作オペラ。 主催:コンサート・ドアーズ
ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの 2026	アクトシティ浜松 大ホール	6/28	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏で披露。 共催:K-MIX、静岡第一テレビ

事業名	会場	開催予定日	内容
ダニエル・ライスキン指揮 スロヴァキア・フィルハーモニー 管弦楽団 ピアノ:アレクセイ・ゴルラッチ	アクティシティ浜松 中ホール	7/2	1949年設立、スロヴァキア首都・ブラティスラヴァに創立された同国を代表するオーケストラの来日公演。 ピアニストは第6回浜松国際ピアノコンクール優勝者のアレクセイ・ゴルラッチ。 主催:コンサートイマジ
イル・ド・フランス国立管弦楽団 with 石井琢磨	アクティシティ浜松 大ホール	7/16	巨匠ジャン・フルネが設立したフランスの名門オーケストラの初来日公演。ソリストには YouTuber としても話題を集める石井琢磨が登場。 共催:静岡朝日テレビ、ライブエグザム
石田組 コンサートツアー2026	アクティシティ浜松 大ホール	7/18	カリスマ・ヴァイオリニスト石田泰尚が日本のトップ奏者を招集し、一期一会の音楽を奏でる弦楽合奏団。 主催:テレビ静岡、キョードー東京
宇崎竜童 弾き語り LIVE 2026 JUST GUITAR JUST VOCAL	アクティシティ浜松 中ホール	7/20	宇崎竜童による弾き語りのトーク&ライブ。 主催:サモンプロモーション
第20回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクティシティ浜松 中ホール	7/26	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。 共催:浜松いわた信用金庫、浜松交響楽団
能・狂言の とっておきの楽しみ方	アクティシティ浜松 コンgresセンター 41 会議室	8/11	9月の「野村萬斎監修 アクティシティ能・狂言」開催をひかえて能・狂言の見どころ、楽しみ方を学ぶ講座。
blast ブラスト!	アクティシティ浜松 大ホール	8/26	ブラス、パーカッション、ヴィジュアル・アンサンブルが魅せる超絶技巧と究極のアンサンブル。 共催:テレビ静岡
野村萬斎監修 アクティシティ能・狂言	アクティシティ浜松 大ホール※	9/13	狂言師 野村萬斎監修による、浜松オリジナル演出の能・狂言。600年を超える歴史を持つ洗練された伝統芸能の技法と現代の舞台技術が織りなす、新しい能・狂言を上演。 共催:浜松市、静岡新聞社・静岡放送
特別演奏会 プライズウィナーの響演	アクティシティ浜松 大ホール	9/18	1967年スタート、日本を代表する指揮者を多数輩出している東京国際指揮者コンクールと浜松国際ピアノコンクールの提携公演。 指揮:吉崎理乃(東京国際指揮者コンクール2024第3位・齋藤秀雄賞) ピアノ:ヨナス・アウミラー(第12回浜松国際ピアノコンクール第2位) 管弦楽:富士山静岡交響楽団 主催:民主音楽協会
清塚信也 with N響メンバー カラフル・ミュージック・ツアー	アクティシティ浜松 大ホール	10/12	ピアニスト清塚信也と日本を代表するNHK交響楽団の共演。クラシックの名曲から話題のサントラまで幅広いジャンルの音楽を楽しみトークとともに披露。 主催:日本アーティスト

事業名	会場	開催予定日	内容
ユッカ＝ペッカ・サラステ指揮 ヘルシンキ・フィルハーモニー 管弦楽団 ピアノ:角野隼斗	アクティシティ浜松 大ホール	10/16	1882年設立、北欧諸国で最も長い歴史を持つ名門オーケストラの来日公演。ピアノには大人気ピアニスト、角野隼斗が登場。 主催:テレビ静岡、テンポプリモ
尾崎亜美 50th Amii-versary Concert Tour 2026	アクティシティ浜松 中ホール	11/23	多くのヒット曲を手掛けるシンガー・ソングライターのデビュー50周年記念ライブ。 主催:サモンプロモーション
チャイコフスキーバレエ劇場 「くるみ割り人形」	アクティシティ浜松 大ホール※	12/23	クリスマスの風物詩となっているチャイコフスキー作曲の傑作バレエ。 クリスマス・パーティでくみ割り人形をプレゼントされたマーシャが巡る一晩の夢の物語。 主催:光藍社
2台ピアノコンサート ジャン・チャクムル/ コルクマズ・ジャン・サーラム	アクティシティ浜松 中ホール	12/27	ともにトルコ出身の浜松国際ピアノコンクール入賞者による2台ピアノの饗宴。 共催:ますの会
ミュージカル 「ミス・サイゴン」	アクティシティ浜松 大ホール	1月	世界各国でロングランを重ねた大ヒットミュージカル。ベトナム戦争末期のサイゴンを舞台に、ベトナム人の少女キムと米兵クリスの二人の愛、別離、運命的な再会を歌う。 共催:テレビ静岡、中日新聞東海本社、K-MIX
松本宗利音指揮 東京都交響楽団 ピアノ:仲道郁代	アクティシティ浜松 中ホール	1/30	指揮界の期待の新星・松本宗利音が浜松初出演として東京都交響楽団とともに登場。 ソリストには今年デビュー40周年を迎える浜松ゆかりのピアニスト、仲道郁代が出演。
富士山静岡交響楽団 定期演奏会			
第136回 定期演奏会	アクティシティ浜松 中ホール	6/28	指揮:高関健 ピアノ:イリヤ・ラシュコフスキー (浜松国際ピアノコンクール負担金事業)
第138回 定期演奏会		10/24	指揮:沼尻竜典 ピアノ:桑原志織 オルガン:大木麻理
第140回 定期演奏会	アクティシティ浜松 大ホール※	2/21	指揮:高関健 ピアノ:務川慧悟

※印 大ホール中規模利用

イ 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

アクトシティ浜松友の会の運営や、各種事業に関する情報発信を通じて、市民が芸術文化に触れる機会の拡充を図ります。Web サイトや SNS 等を活用し、より多くの情報を広く分かりやすく発信することで、芸術文化の魅力を効果的に伝えます。

・アクトシティ浜松友の会の運営

会員数の維持を目標に、引き続き会員サービスの充実を図ります。あわせて、令和9年度からのアクトシティ浜松大・中ホール改修休館およびその後のリニューアルオープンを見据え、令和8年度中から会員制度の見直しや新たなサービス内容の検討を行い、休館期間中の現行会員の継続と新規会員の獲得につなげます。

・インタビューノートの発行および配信

前年度から紙およびデジタル媒体で発行している、出演者へのインタビューや公演の見どころを紹介する「インタビューノート」について、令和8年度も引き続き両媒体を用いて発行します。また、デジタル媒体については、SNS や Web 広告との連携を図り、情報発信力の強化を進めます。

・活動報告書や映像の制作・配信

当財団の活動内容を分かりやすく発信する活動報告書や映像を制作・配信し、芸術文化活動の意義や当財団の取り組みへの理解促進と支援の拡大につなげます。

あ アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(あ) 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へダイレクトメールを送付

(い) 財団主催事業や受託公演のチケット販売（チケット代金の10%を会員割引）

・オンラインショップもしくは電話による予約

(う) 会員へのサービス提供

- ・浜松市楽器博物館入館料の割引
- ・浜松市秋野不矩美術館入館料の割引
- ・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス
- ・会員限定イベントの実施
- ・遠州鉄道と連携したお帰りきっぷの発行

い 広報活動

活動名	内容
財団公式ホームページサイトの管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNS による情報発信	YouTube や SNS (Facebook、X、Instagram) を活用した広報活動を展開。
インタビューノートの発行および配信	事業単位での情報提供を行う。紙媒体とデジタル媒体で発行し、さらに情報提供先（ターゲット）を明確にします。
財団事業活動報告書及び活動紹介映像の制作	令和7年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作およびWeb 上で公開。

活動名	内容
事業広報	事業チラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。インターネットによる検索連動型広告やディスプレイ広告による広報活動。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報の実施。
HCF オンラインショップの運営	オンラインによるチケット販売(受託販売を含む)を実施。購入後の受取方法はチケットセンターでの引換え(友の会会員限定サービス)、宅配、コンビニ発券、電子チケットから選択可能。クレジットカードを使用しないコンビニ決済サービスも対応。
アクトシティ浜松 インフォメーションセンター・ チケットセンターの運営	アクトシティ浜松インフォメーションセンターにて、施設案内および公演情報を提供。チケットセンターも併設し、財団独自のチケット販売専用端末を設置。主催公演のほか、一般主催者や他館公演のチケットも受託販売を実施。アクトシティ浜松友の会会員を対象としたチケット販売および引換えも実施。

ウ 芸術文化活動の支援及び交流の促進

令和8年度においても、市民の文化活動を支援し、活動を通じて生まれる交流や新たな出会い、表現者同士のネットワーク構築を促進します。様々な世代と地域を対象に、市民の主体的な文化活動を活性化させるため、助成金制度の運用や浜松版アーツカウンシル活動による各種支援事業を実施します。

また、支援事業や交流事業を通じて生み出された文化的成果を調査・研究し、検証することで、さらなる文化の価値向上につながる支援事業の検討・実施を行います。

・浜松市民文化フェスティバル事業

市民文化団体や学校による文化活動の成果発表の場として、アクトシティを中心とした市内文化施設を会場に、各団体が自ら企画・制作・出演・展示する事業を開催します。

・吹奏楽事業

全国から吹奏楽指導者が浜松に集う「日本吹奏楽指導者クリニック」を民間企業と共催開催します。また、国内で活躍する作曲家の楽曲提供や、市内学生が作曲家から直接指導を受ける機会を設ける浜松オリジナル企画「バンド維新」を開催します。

・アーツ&クリエイション事業

市民の創造的な活動に対する相談窓口の設置や伴走型支援を行うとともに、クリエイター同士のマッチング事業を展開します。あわせて、地域に点在する活動拠点の情報や、その活用方法を発信し、市内全域で創造的活動が広がる環境づくりを進めます。

・助成金事業

浜松で活動する文化芸術団体への支援、地域で活動する文化協会への助成、民間企業からの寄付を活用し若手演奏家を起用する事業等を通じて、市民による主体的な文化活動の活性化を図ります。

あ 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第55回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/15～17	全国の音楽指導者が集い行われる講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
浜松市民文化フェスティバル 2026	アクトシティ浜松 他市内諸施設	8～12月	市民団体や学校による音楽・舞踊公演及び展示会。連盟や協会所属団体、市民公募の出演枠により全10部門を実施する。
東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト2026 in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	10/3・4	東京藝術大学と地域が協働して取り組む逸材発掘プロジェクト。子どもの音楽的な可能性を引き伸ばす方策を探るとともに、子どもが相互に刺激し学び合う環境づくりを行う。
第34回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/17～25	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催。共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
第72回 浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	クリエート浜松 浜北文化センター なゆた・浜北 他	10～1月	市内の劇団による演劇・人形劇公演。 (全7公演)
バンド維新2027	市内学校 アクトシティ浜松	3/14 (学校訪問 3月上旬)	吹奏楽をテーマに学生や指導者、作曲家が交流し次代音楽人材を育成する演奏会。事前に作曲家自身による学生の直接指導の機会も設ける。
演奏会運営事業	市内各所	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供する。

い 浜松版アートカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松アート&クリエイション事務局の運営	—	通年	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動における課題や将来展望などの実態調査を行うとともに、活動に対する相談窓口を設け、情報提供や助言を行う。 浜松市創造都市推進事業補助金の公募から事業実施に対する相談・助言などの伴走支援を行う。 浜松を拠点に活動しているクリエイターの活動紹介や情報発信を行う。
支援事業	市内各所	通年	ジャンル間の相互理解やジャンルを超えた交流を促進する機会づくりや、市民の創造性を育む土壌を作る実証実験「はままつReCreation LABO」などを行う。

う 浜松みんなの文化応援助成事業

市内の芸術文化活動の充実と活性化を目的に、市民の文化活動を支援します。

- ・支援内容：施設使用料として上限額10万円を助成

え オークラアクトシティホテル浜松 Presents 「若い音楽家のための助成金」事業

オークラアクトシティホテル浜松より寄付いただいた資金を基に、浜松市出身及び浜松市在住の若手音楽家が浜松市内で開催する事業を対象とした助成金事業を実施。

対象事業：浜松市出身及び浜松市在住の若手音楽家が浜松市内で開催する事業

年齢：35歳まで（令和8年5月1日現在の年齢が35歳以下）

対象期間：令和8年5月1日～12月31日

助成金額：上限額10万円／1件

申請期間：令和8年3月1日～3月31日

お 浜松市内文化団体・文化協会との連携

(あ) 浜松市浜松文化協会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

(い) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（10団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに支援を行います。

また、実施する文化活動に対し、「浜松市内文化協会助成金」（上限額15万円）を交付します。

か インターンシップ実習

県内・近隣県・芸術系大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れを行います。

エ 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

アクトシティ音楽院をはじめとした次世代を担う人材の育成に継続的に取り組みます。

まちなかコンサート事業では、市民の発表と交流の場を創出するとともに、市外から浜松を訪れる人々に「音楽の都・浜松」の魅力を発信します。

あわせて、都市間交流事業、アウトリーチ事業、浜松国際ピアノコンクール事業等についても、浜松市と連携し推進します。

また、中学校部活動の地域展開においても、関係団体等と連携した事業活動を進めます。

・ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松の運営

将来の「音楽の都・浜松」を担う人材の育成を目的に、定期演奏会をはじめ、市内各地での演奏会を開催します。また、少子化の影響により団員数の確保が重要な課題となる中、体験会の実施や活動内容の周知を通じて、将来を見据えた団員の確保に努めます。

・浜松吹奏楽大会事業

優秀な成績を修めた学校が全国から集う大会としての特長と魅力の発信に力を入れるなど、集客に向けた取組を強化します。また、今大会はアクトシティ浜松改修前の最後の大会となることから、関係者との事業調整も進めます。

・こども音楽鑑賞教室事業

本事業は例年、市内全小学5年生を対象に実施していますが、アクトシティ浜松大ホールの改修休館期間中に5年生となる学年については、令和8年度および令和11年度事業において対応を図ります。

令和8年度は5年生と4年生、改修後の令和11年度は5年生と6年生の2学年を対象に、それぞれ8公演を実施し（例年は4公演）、対象学年の全児童が音楽鑑賞教室を体験できる機会の確保に努めます。

・アクトシティ音楽院事業

若い世代を対象とした吹奏楽、合唱、こども音楽セミナー等の育成事業に加え、民間企業と連携した専門的な知識を学ぶアカデミーイベントを実施します。また、市民を対象とした主催者育成セミナーやジャズ講座など、幅広い層を対象とした人材育成事業を年間を通じて展開します。

・ランチタイムコンサート事業

浜松市内の小学校等において、昼休み時間を活用したアウトリーチ事業として出張コンサートを実施し、生演奏の魅力や音を奏でる楽しさを児童が体感できる機会を提供します。

・浜松国際ピアノコンクール事業

令和9年度開催の第13回コンクールに向け、実行委員会の開催、基調デザインの決定、公式ウェブサイトでの情報公開、募集要項の発表および周知、出場者募集等を行います。あわせて、過去入賞者と国内オーケストラの協演公演や、審査委員を起用した演奏会を企画し、コンクール開催に向けた機運を高めます。

あ パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクティシティ浜松 中ホール	年4回	アクティシティのパイプオルガンを、より多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサートを開催する。
オルガンのパイプを作ってみよう	アクティシティ浜松 中ホール	年1回	夏休みの小中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成する。
オルガン演奏会事業	福祉交流センター	年5回	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。

い まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11月 (全24回)	市内の学校及び一般の吹奏楽団が出演する屋外コンサート。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供する。 協力:浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	8/2	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力:浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～10月 (全5回)	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュースする、合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する屋外コンサート。

う ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。 音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
ジュニアクワイア浜松 第32回定期演奏会	アクティシティ浜松 中ホール	9/6	
ジュニアオーケストラ浜松 第32回定期演奏会	アクティシティ浜松 中ホール	9/13	
スプリングコンサート2027	アクティシティ浜松 大ホール	3/14	

え 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松吹奏楽大会 2027			
第15回 全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/27	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。キタラでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校・高校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催する。
第39回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール 他	3/28	

お 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
音楽文化都市交流事業	札幌コンサート ホール kitara	10～11月	本市が音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市との文化交流事業。民間の合唱団体を派遣予定。

か こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第26回 こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/2～5 全8回公演	市内全小学4年生と5年生を対象に、良質なオーケストラ演奏に触れる機会を提供する。 ※令和9年度は大ホール改修期間に当たるため、令和8年度は前倒しで4年生も対象とする。

き アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
アカデミーコース (世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業)			
第32回 浜松国際管楽器アカデミー &フェスティバル	アクトシティ浜松 他	8/3～8	国内外の演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催する。
バークリー音楽大学事業	アクトシティ浜松	2月(予定)	アメリカ・バークリー音楽大学との連携事業。大学教授らによる入学オーディションやジャズクリニックを開催する。
修了生公演事業	市内小中学校 他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。

事業名	会場	開催予定日	内容
コミュニティコース（市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業）			
ジャズ文化講座	クリエート浜松	7～9月 (全5回)	守屋純子氏他によるジャズ初心者を含む一般向けの音楽文化講座。演奏を交えながら気軽にジャズを楽しんでいただくための知識を提供する。
吹奏楽セミナー	あいホール	4/5	保科洋音楽監督を講師に、吹奏楽課題曲講習会を開催する。
	サーラ音楽ホール	5～1月 (全5回)	浜松ジュニアブラス対象のパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催する。
	あいホール	5/10	小編成バンドの音楽表現に特化した実践的な指導法を教える指導者向け講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出しする。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」音源・楽譜貸出事業	—	通年	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜を、アマチュア音楽団体へ無料貸し出しする。
主催者育成セミナー	クリエート浜松 他	5～3月 (全12回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成する事業開催実践セミナー。2月には、受講生の企画によるコンサートを開催する。
合唱セミナー	アクトシティ浜松	1月	広く一般に合唱を普及させるためのセミナーを開催する。
音楽指導者派遣事業	市内学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
こども音楽セミナー	市内諸施設	10～12月	小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナー等を開催する。

く ランチタイムコンサート事業

事業名	会場	開催予定日	内容
ランチタイムコンサート	市内小学校等	9月～12月 (調整中)	市内小学校等のお昼休み時間に、ミニコンサートと管楽器体験を実施。気軽に音楽に接する機会を提供。

け ジェイミーのコンサート事業

事業名	会場	開催予定日	内容
ジェイミーのコンサート	福祉交流センター	12/3	ピアニスト小川典子氏がライフワークとして取り組んでいる、自閉症児とご家族を主な対象としたコンサート。

こ ジュニアコーラス・フェスティバル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
ハママツ・ジュニア・コーラス・フェスティバル	アクトシティ浜松中ホール	1/17	浜松市内外の青少年合唱団の交流促進と、こどもたちが主役となる地域の音楽活動の振興を目的に開催する。

さ 浜松国際ピアノコンクール事業

(あ) 第13回コンクール開催準備

- ① 実行委員会・運営委員会の開催
- ② 公式ウェブサイトの公開
- ③ 募集要項の発表、出場者募集
- ④ 公式デザイン案の策定
- ⑤ 優勝者・入賞者特典の調整

(い) 国際音楽コンクール世界連盟との連携

(う) アーリンク・アルゲリッチ財団との提携

(え) 関連事業の開催（「芸術文化公演（鑑賞型）」に掲載）

① 富士山静岡交響楽団との提携企画

「富士山静岡交響楽団 第136回定期演奏会」

日程：6月28日（アクトシティ浜松中ホール）

出演：高関健（指揮）、イリヤ・ラシュコフスキー（ピアノ／第8回浜松国際ピアノコンクール第1位）、
富士山静岡交響楽団（管弦楽）

主催：富士山静岡交響楽団

② 小林海都（第12回浜松国際ピアノコンクール 第3位）リサイタル

「アクト・ニューアーティスト・シリーズ No.151」

日程：7月4日（アクトシティ浜松中ホール）

出演：小林海都（ピアノ／第12回浜松国際ピアノコンクール第3位）

③ 児玉桃審査委員長のお披露目コンサート

「アクト・プレミアム・シリーズ Vol.44」

日程：9月7日（アクトシティ浜松中ホール）

出演：児玉桃（ピアノ／第13回浜松国際ピアノコンクール審査委員長）、セルゲイ・ハチャトゥリアン
（ヴァイオリン）

④ 東京国際指揮者コンクールとの連携企画

「特別演奏会 プライズウィナーの響演」

日程：9月18日（アクトシティ浜松大ホール）

出演：吉崎理乃（指揮／東京国際指揮者コンクール2024 第3位・特別賞）、ヨナス・アウミラー（ピアノ／第
12回浜松国際ピアノコンクール第2位）、富士山静岡交響楽団（管弦楽）

主催：民主音楽協会

(2) 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

ア アクトシティ浜松

運営の考え方

アクトシティ浜松では、改修工事に伴い利用を停止していた研修交流センターが、令和8年9月から利用を開始します。すでに予約受付を開始しており、円滑な利用再開に向けた予約案内や運営体制の整備など、利用者が安心して利用できる環境づくりを進めます。

また、令和9年度には、展示イベントホールを皮切りに、大ホール・中ホール・コングレスセンターが順次改修工事に伴う休館期間に入ります。令和8年度は、引き続き利用者からの各種問い合わせや相談に丁寧に対応するとともに、利用可能なゾーンや近隣の民間施設を活用した代替提案を行い、利用者の要望に応じた催事の実現を支援します。

コンベンションの誘致については、令和11年の全館リニューアルオープン後を見据え、全国規模の学会や展示会を対象とした情報収集と営業活動を進めます。主催者の開催条件に関する情報を把握し、アクトシティ浜松での開催につながる基盤づくりに努めます。

あわせて、アクトタワーを含めた施設全体の活性化事業を展開し、施設の部分改修中においても官民一体となってアクトシティ全体の誘客に取り組みます。

- ・コンベンション誘致活動においては、改修工事後を見据え、大型コンベンションの開催計画や主催者情報を収集し、浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携した活動を進めます。
- ・サポートサービスを提供し、施設利用者の多様なニーズを多彩なオプションサービスで支援します。サービスの実施にあたっては、地域企業や地元食材を活用し、浜松ならではの特色を生かしたサービスを提供し、利用者の利便性と満足度の向上を目指します。
- ・引き続き利用者アンケートを活用し現状分析を行い、利用促進とリピーター獲得につなげていきます。利用に関する具体的な問題点を洗い出し改善に取り組むほか、施設改修にも反映し、安全と利便性の高い施設運営体制を構築します。

事業名	開催予定日	内容
施設利用の促進 (3事業)		
コンベンション誘致	通年	浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携し、全国で開催される学術集会や展示会に出展するとともに、主催者や関係者への情報提供および情報収集を行う。また、予約ごとにコンベンション専任担当者を配置し、会場利用に関する調整や運営支援を実施。
サポートサービスの提供	通年	配信機材の貸し出し、看板の作成・設置、清掃の代行発注、レイアウト転換・設営など施設利用者のニーズに可能な限り対応するサービスを提供。弁当・ケータリング手配においては、地元食材を活かしたメニューや複数の価格帯を用意し、利用者の要望にきめ細やかに対応。
利用者アンケートの実施	通年	全利用者を対象とした施設利用アンケートを実施。具体的な設問を設置し、施設のハード/ソフト両面から課題を洗い出す。アンケート結果は月次に集計し、月例会議で原因分析や今後対応を協議の上、結果を施設職員、関係部署、上位役職者とも共有。

事業名	開催予定日	内容
アクトシティ活性化事業 (4事業)		
アクトでやらまいか浜松まつり	5/3～5	浜松まつり期間中、屋外広場のサンクンプラザにて吹奏楽やダンス等市内外で活動する市民団体によるステージイベントを開催するほか、アクトシティ内店舗を中心とした屋台の出店を行う。
アクトシティ大冒険!	8/5	アクトシティ浜松の大ホールの各種舞台装置や楽屋、ホール奈落、アクトタワーのヘリポート見学など、普段は見ることのできない場所等を大冒険するバックステージツアーを開催する。
アクトタワーライトアップ	不定期	アクトタワーのヘリポート部分を各民間団体のキャンペーンと提携しライトアップを実施する。 過去事例：心臓予防啓発デー（赤色）、世界脳卒中デー（青色）など。
活性化委員会 官民定例会の開催	通年	活性化委員会構成員である、当財団、アクトシティマネジメントおよびオークラアクトシティホテル浜松の担当者による会合を定期的に行い、アクトシティへの誘客促進、関係団体相互のイベント連携等について検討を行い、持続的にぎわい創出とエリアの活性化を図る。

イ クリエイト浜松

運営の考え方

クリエート浜松は、ホールやギャラリーなどの多様な機能を有しており、市民による音楽、ダンス、絵画、工作など、幅広い芸術文化活動が日常的に展開される施設です。

地域に根ざした施設として、地域住民との関わりに重きを置き、誰もが気軽に集い、交流できる場となることを目指し、地域の皆様に親しまれるイベントの開催や、施設を拠点とした交流の機会創出に取り組みます。

- ・令和8年度は、若手アーティストによる「クリエイターズフェス」において、ワークショッププログラムを一層充実させ、鑑賞にとどまらず来場者がイベントに参加できる体験型の空間づくりを進めます。あわせて、市内の高校生・大学生とアーティストとの交流機会を創出し、芸術活動の活性化を図ります。
- ・文化活動および生涯学習の場として地域に開かれた施設とするため、地域住民、学校、商店、地元企業などと積極的に連携し、地域に愛され、立ち寄りたくなる施設づくりを進めます。
- ・浜松国際交流協会、中部協働センター、人権啓発センターなどクリエート浜松内の関係機関と連携し、多文化共生、国際理解、生涯学習、人権啓発等の社会的課題の解決に向けた取り組みを推進します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（市民文化の振興に資する事業 2事業）		
ハママツ・クリエイターズ・フェス	7/17～19	浜松ゆかりの若手アーティストによる作品展示やワークショップ、公開制作などを高校・大学や地元企業とも連携して行うほか、「クリエート・マルシェ」も同時開催する。
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展	8/21～23	3階のギャラリーにおいて、地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花などの多彩な文化を披露する。また、作品をわかりやすく解説するアートコミュニケーションを行うことで、文化団体と来館者の交流の場を創出する。
指定事業（コミュニティ活動の活性化と社会課題の解決に資する事業 4事業）		
クリエートの夏まつり	8/23	地域住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題に対する啓発事業を行う。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
クリエートの冬まつり	1/23・24	地域住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題に対する啓発事業を行う。 共催：市中部協働センター
第17回はままつグローバルフェア	2/14	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会

事業名		開催予定日	内容
	ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する。
指定事業 (その他の事業 2事業)			
	クリエート/文芸館コラボ事業	通年	文芸館の広報PR促進事業。(展覧会屋外ラッピング制作、館内ガチャ俳句企画、1階ロビーの浜松文芸館ミニギャラリーブース展示等)
	文化情報発信事業	通年	当施設利用の文化団体を取材し、各団体の情報発信を行う。
自主事業 (5事業)			
	クリエート・マルシェ	年2回程度	近隣の商店と連携して出店者を募り、「クリエート・マルシェ」を開催。来館者に地域の商店や産業を知ってもらう機会を提供するとともに、クリエート浜松のにぎわいを創出する。また、中庭にもオープンカフェを開き、来館者がくつろぎやすい空間づくりを行う。
	リフレッシュ理科教室	6/20	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作教室。 共催:(公財)応用物理学会
	クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。 参加者同士のコミュニケーションの場を創出する。
	地元自治会との連携イベント	年1回程度	市民の文化活動・生涯学習の場として地域に開かれた施設とすべく、自治会や地域住民と積極的につながり、「地域に愛される施設」「立ち寄りたくなる施設」を目指す。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

ウ 浜松市浜北文化センター

運営の考え方

浜北文化センターは、地域の日常に根ざしながら創造や新たな出会いを生み出す施設運営を進めます。大規模改修を経て機能性や快適性が向上した施設特性を活かし、ホール、会議室、練習室などを横断的に活用することによって、鑑賞の場にとどまらず、表現を生み出す創造的な活動の発信拠点として活用します。

重点的な取り組みとして、子ども・子育て世代や若者を意識した事業展開を行い、文化的体験の機会を創出します。また、館内ツアーや広報発信を通じて施設の魅力や機能を周知し、文化への興味関心を高めます。さらに、地域団体や企業、教育機関等との連携を深め、文化イベントや興行のほか、研修や会議を目的とした利用促進を図ります。

これらの取り組みを通じて、市民にとって身近で開かれた文化拠点としての存在感を高め、地域とともに成長する施設運営を目指します。

- ・未就学児を対象とした「身体表現ワークショップ」を開催することで、表現芸術との最初の接点となり、演じることを楽しみながら感性を育む機会を提供します。
- ・親子を対象とした「夏休みバックステージ探検ツアー」の開催を通じて、ホールの魅力や機能を発信することで文化施設に対する興味を醸成します。
- ・「SPAC中高生鑑賞事業」の開催により、未来を担う世代に質の高い演劇鑑賞の機会を提供します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業 (10 事業)		
舞台裏方体験講座	8 月	舞台技術スタッフから高校生へホールの舞台設備を紹介しつつ、演劇作品の制作に役立つ舞台、音響、照明などの基礎知識を講義する。
身体表現ワークショップ	8 月	未就学児に対する身体表現のワークショップ。感受性の高い幼児期に、演劇を通じて表現することの楽しさを体験し、表現芸術に親しむ。
夏休みバックステージ探検ツアー	8 月	親子でホール舞台裏を探検し、文化施設とそこで行われている活動について興味関心を高めるツアーを実施する。
恐竜パーク	8/15	本物さながらのリアルな恐竜パペットショー。親子で恐竜の世界を体験しながら楽しく学ぶ。 共催:サンライズプロモーション
浜北寄席	10/10	リニューアル後初の開催であり第 40 回の節目となる浜北寄席は、軽快な語り口と確かな構成力の実力派を招き、より幅広い世代に対して落語の魅力を届ける。
浜松市民バンドフェスティバル	1/24	浜松市民バンド協議会との協働による、市内の一般（社会人）吹奏楽団が一堂に会する演奏会。
ゆるやかコンサート	4 回程度	子ども連れのお母さんやその家族などを主な対象として、周囲に気兼ねなく音楽の生演奏を楽しむ機会を提供する。

事業名		開催予定日	内容
	文化活動伴走支援事業	通年	地域文化コミュニティなどが文化活動のための作業を行う環境を整え、文化コミュニティと個人をつなげるための支援を行う。
	施設広報	通年	ホームページやSNS等を通じて、施設の活動を伝える。また、施設で行われる文化活動を広報面から支援する。
	地域事業への協力	8月	地元住民や関係団体と連携し、地域活性化と住民との交流促進を目的に実施。夏まつり等、地域催事の開催を支援する。
自主事業 (4事業)			
	SPAC中高生鑑賞事業	2月	県西部の中高生を対象とした演劇の鑑賞事業。 共催：静岡県舞台芸術センター
	施設利用付随サービスの提供	通年	業者紹介、コピー、FAX送受信、タクシー手配など施設利用の利便性を高めるためのサービスを提供する。
	新規 ステージ体験	随時	ホールのステージ上で自由に演奏やパフォーマンスする機会を提供することで、施設利用のきっかけを創出し、利用拡大につなげる。
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

エ 浜松市天竜壬生ホール

運営の考え方

天竜壬生ホールは、令和8年度に現指定管理期間の最終年度を迎えます。

本年度は、これまでも取り組んできた次世代人材育成を目的とした児童ワークショップ事業や、地域市民文化団体との協働事業、良質のコンサート事業を実施します。また、乳幼児同伴で家族鑑賞できるコンサートのほか、初企画となる郷土の偉人を題材とした講談や演劇分野のアウトリーチ事業を開催します。

天竜区の文化ホールとして多彩な魅力を発信し、地域文化の一層の振興に努めます。

- ・ 主軸事業である、小・中学生を対象としたダンスとミュージカルのワークショップ事業を通年開講し、年末には集大成となる成果発表公演を開催します。表現力や創造性を育む機会を提供し、豊かな感性の育成を図ります。
- ・ 一流の講談師による郷土の偉人を題材とした「はままつ偉人講談」を企画し、地域の歴史を楽しみながら知る機会とします。
- ・ 地域の市民文化団体との協働事業として、「MIBU 吹奏楽フェスティバル」、「MIBU New Year Concert」、「みぶ遠州の和太鼓」、「みぶ絵手紙展」等を実施し、オクハマ地域の多様な文化活動の発表と交流の場を創出します。
- ・ 北遠地区の文化振興の拠点施設として、中山間地域への演奏会アウトリーチ事業「天竜区ふれあいコンサート」に加え、新たに演劇分野のアウトリーチ企画「劇団たんぽぽ出張公演」を開催し、幅広い世代が地元でいながら舞台芸術に親しめる機会を提供します。
- ・ 施設利用体験型事業「みぶアーティストステージ」「ステージ演奏体験」の継続実施とともに、施設情報の発信強化に努め、さらなる利用促進に取り組みます。

事業名		開催予定日	内容
指定事業（文化振興事業 2 事業）			
	はままつ偉人講談	7/19	講談師の巧みな語り口をとおして、郷土の偉人の偉業やエピソードを学ぶ企画。
	MIBU New Year Concert 2027	1/24	地域の市民楽団と著名演奏家が共演する市民参加型コンサート。
指定事業（芸術普及事業 7 事業）			
	MIBU ワークショップ ダンスクラス	通年 (月 2 回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
	MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	通年 (月 2 回)	
	みぶアーティストステージ	5/23	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露する。
	MIBU 吹奏楽フェスティバル	11/3	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。

事業名		開催予定日	内容
MIBU ワークショップ 成果発表公演	12/19・20	MIBU ワークショップ受講生たちによる、創作ダンスとオリジナルミュージカル作品の披露公演。	
みぶ遠州の和太鼓 2027	2/7	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。	
みぶ絵手紙展	2/26～3/7	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展覧会。	
自主事業（7事業）			
浜松文芸館出張講座	月1回 (4月～9月)	浜松文芸館で実施している企画の中から好評をいただいている講座の出張開催。	
劇団たんぽぽ出張公演	調整中	浜松のプロ劇団による中山間地域への出張公演。	
ゆるやかコンサート in MIBU	調整中	乳幼児連れのご家族を対象にしたクラシックコンサート。	
新規 出張こどもワークショップ	調整中	浜松文芸館や浜北文化センターで開催しているこども向けのワークショップを天竜地区で実施。	
ステージ演奏体験	年6回程度	ホールの空き日を利用してコンサートピアノを会館側で準備、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供する。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用することができる。	
チケット受託販売	通年	施設利用者の開催公演のチケットを受託販売。	
魅力発信事業	通年	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信。	
自主事業（共催・協力事業 2事業）			
天竜芸術祭芸能発表会	10月	天竜区内で活動する市民文化団体が実施する芸能祭の舞台運営支援。	
天竜区ふれあいコンサート	年1回	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。 共催：天竜区ふれあいコンサート実行委員会	
その他の事業（1事業）			
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。	

オ 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

運営の考え方

浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）は、次世代の音楽文化人材の育成と、多様な市民による主体的な音楽文化活動を支える拠点施設として、各種事業に取り組みます。

次世代の音楽文化を担う人材の育成にあたっては、児童・青少年が年齢に応じて継続的に音楽活動に携われる環境を整えるとともに、指導者間の人材交流を促進し、育成された人材が次世代を育てる側へとつながる持続的な仕組みを構築します。あわせて、部活動の地域展開を見据え、関係団体と連携した事業活動を進めます。

さらに、市民による多彩な文化活動へのチャレンジを支援するとともに、子育て世代や障がいのある方を含む多様な市民が音楽に親しめる機会の創出を図ります。

加えて、大学、市民団体、地元企業等との協働を通じ、地域に開かれた施設運営を目指します。

・吹奏楽による一貫した次世代人材育成

世代別にジュニア・中学生・ユースの3楽団を編成し、年齢や技術に応じた段階的な育成プログラムを実施します。また、浜松市吹奏楽連盟や地域NPO法人等と協働し、市民が演奏指導に関わる仕組みの形成や、若手指導者同士の演奏交流の機会を創出します。

演奏者と指導者の双方が育つ人材育成の循環を図ります。

・アイデア・チャレンジ事業を活用した伴走支援

市民の自主的な文化活動を後押しするため、企画段階から開催まで、施設による伴走型の支援を実施します。また、人材を求める団体と活動者のマッチングを行い、新たな連携の機会創出を図るとともに、ホールの新たな活用方法を考える機会も創出します。

・ユニバーサルに音楽を楽しめる機会の創出

乳幼児と保護者に鑑賞機会を提供する演奏会や、障がいのある方を含む来館者がプロアーティストと出演できるコンサートを企画し、誰もが音楽に親しめる機会を創出します。

・地元大学との協働による子育て世代支援

常葉大学浜松キャンパスと連携し、高齢者等を対象とした講座、幼児向けワークショップ、保護者向けエクササイズなど、幅広い世代を対象とした事業を学生と企画します。これらの取り組みを通じて、学生が地域実践教育に参画できる機会を創出します。

・地域とつながるイベントの開催

地元自治会や店舗と協働で「秋祭り」を開催し、地域文化団体の作品や演奏の発表、地元製品の会場物販等を行います。また、地元住民・企業の会合出席や、施設を利用する小学校に都田地区の企業見学をセッティングするなど、地域と一体となった施設運営を展開します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 6事業）		
ゆるやかワークショップ・コンサート事業 [乳幼児]	年1~2回	気軽に来館して様々な芸術文化を体験する場を提供し、乳幼児と保護者がホールを知る最初の一步となるイベントを企画する。
浜松ジュニアプラス育成事業 [小学生]	通年	小学生有志による合同吹奏楽バンド育成事業。生涯学習活動として、次世代の育成に市民が関わる学びと教への循環を実践する。 共催：NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松中学生吹奏楽団育成事業 [中学生]	通年	市内中学生による合同吹奏楽バンドの育成を通じて、初等教育から次のステップである中等・高等教育への橋渡しの機能を担う。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会

事業名	開催予定日	内容
浜松ユース吹奏楽団育成事業 〔中高生〕	通年	当ホール開館に合わせて結成された市内の中学から高校世代の吹奏楽バンド育成事業。 共催:浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
大学連携事業	年数回	常葉大学浜松キャンパスと協働し、大学生が自らの学びを活かして、幼児向けの英語ワークショップやリトミック教室、パパ・ママ向けのエクササイズなどを企画する。
若手指導者交流事業	年1～2回	吹奏楽を題材に指導法を学ぶ講習会や公開リハーサルなど、市内外の指導者との交流を含めた若手指導者交流事業を実施する。
指定事業 (市民の音楽文化活動の促進 6事業)		
市民提案型 創造的活動支援・ホール活性化 「アイデア・チャレンジ事業」	通年	当館を会場とした事業を一般公募し、選定事業について、構想段階から実施までを伴走支援する。
ユニバーサルコンサート 「ハートフルコンサート事業」	複数回	多目的室やホールを利用し、障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを開催する。 共催:認定NPO法人魅惑的倶楽部
サポーターズクラブ活用事業	通年	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用する。
運営委員会	通年	当館の主催事業及び施設運営について評価、指導の機能をもつ。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びウェブページの整備を行う。
多目的室・エントランスロビー活用事業	通年	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示する。
自主事業 (2事業)		
地域・企業連携事業(秋祭り)	11月	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施。文化活動の発表や地元産品の物販などを行う。
次世代育成交流事業	1月	浜松ジュニアプラスがホストバンドとなり、ジュニア世代(小学生・中学生・高校生)を中心とした吹奏楽や合唱、邦楽などの多彩なジャンルの音楽交流会を開催する。
その他の事業 (2事業)		
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
ネーミングライツ企業との連携	通年	サーラグループのホール活用助成制度の周知及び特別協力事業「バンドスピリット」ほかを開催する。

(3) 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

ア 浜松市楽器博物館

運営の考え方

浜松市楽器博物館は、アクトシティ浜松Dゾーンの改修工事に伴い、令和8年7月10日まで休館します。

休館期間中は、市内小学校等アウトリーチ事業「移動楽器博物館」を通じて音楽文化発信を推進するほか、館内資料の写真撮影、整理、文化財検索データベースへの登録等を進め、資料の展示・保存・DXを活用した発信力向上に取り組みます。また、展示レイアウトと来館者導線の大幅な見直しを行い、展示の視認性や回遊性、鑑賞環境の快適性を高めます。

国内唯一の公立楽器博物館としての特色を生かし、展示、演奏会、講座事業の実施や、専門機関と連携した調査研究成果の発信を通じて、次代への音楽文化の継承と振興を推進します。

- ・7月のオープンにあわせ、特別展『「ジャワとバリ -Jawa dan Bali-」～多様な楽器がつむぐインドネシアの心～』を開催します。ユネスコ無形文化遺産「ガムラン」を中心に、インドネシアの多彩で豊かな音楽文化と楽器、そこに息づく美意識を紹介します。
- ・1月からは、チェンバロをテーマとした企画展を開催します。令和9年度開催の第13回浜松国際ピアノコンクールを見据え、鍵盤楽器の歴史を紹介します。
- ・体験エリアでは、地元楽器メーカーの協力のもと、「音楽の都・浜松」の魅力をより身近に感じられる体験型展示を企画します。
- ・休館期間を活用した展示レイアウトの変更を実施します。入口正面エリアに新たに特別展紹介ブースを設けるほか、1階アジア・国産洋楽器エリアおよび地下1階オセアニア・アメリカ・アフリカエリアについては、展示楽器、キャプション、導線の刷新を行います。
- ・新たな総合案内図録を編集・販売します。当館を代表する所蔵楽器の写真を掲載するとともに、研究者、演奏家、専門家、楽器製作者による解説を収録し、楽器の歴史や文化的背景、音楽の魅力を多角的に紹介する図録とします。

事業名	開催予定日	内容
特別展・企画展・常設展 (4事業)		
特別展 「ジャワとバリ -Jawa dan Bali-」 ～多様な楽器がつむぐインドネシアの心～	7/11～12/8	インドネシア・ジャワ島とバリ島の各地域で伝承されてきた青銅や竹の打楽器を用いた音楽文化とその多様さを、歴史や文化の側面から対比しながら紹介する。
企画展 「チェンバロ (仮称)」	1/16～ (～6/18)	多彩なチェンバロの歴史と魅力を通じて、音色や構造の変遷を分かりやすく紹介する。
ミニテーマ展示	通年	1つの展示ケースを利用し、テーマに沿って世界の楽器を紹介するミニ展示。
常設展の運営	通年	地域別、種類別、年代別に約1,500点の楽器を常設展示。

事業名		開催予定日	内容
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)			
展示室ガイドツアー	通年	展示室の主な楽器について、テーマに沿って職員がわかりやすく解説するガイドツアー。	
ギャラリートーク	通年	一つの楽器に焦点をあて、実演などを交えて行う職員による解説。	
ミュージアムサロン	通年	国内外で活躍するプロの演奏家による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。	
シリーズ音楽の広場	通年	地域の音楽家や職員等による展示室でのミニコンサート。	
演奏会 (レクチャーコンサート) (3事業)			
バリ島のワヤン・クリ (仮称)	9/27	影絵人形ワヤン・クリを通して、インドネシア・バリ島の音楽・神話・儀礼文化の魅力を解説と実演で体験的に紐解く。演奏:梅田英春、サンディア・ムルティ	
ジャワ島のガムラン (仮称)	11/22	インドネシア・ジャワ島のガムランの歴史と音楽構造、演奏の魅力を解説と実演で紹介するレクチャーコンサート。 演奏:ランバンサリ	
名器ブランシェでよみがえる至高の美(仮称)	1/23	チェンバロの歴史的背景と音色の魅力を、解説と演奏で紹介する。 演奏:中野振一郎	
演奏会 (イブニングサロンコンサート) (2事業)			
バリ島の舞踊とガムラン・アンクルン (仮称)	8月頃	バリ島の舞踊とガムラン・アンクルンの関係を紹介し、儀礼と芸能に息づく音楽と身体表現の魅力を解説と実演で伝える。演奏:サリ・プティ	
チェンバロとバロック楽器 (仮称)	調整中	チェンバロを中心に、バロック時代の楽器編成と音楽様式を解説し、合奏の響きと表現の魅力に迫る。 演奏:調整中	
講座・ワークショップ (4事業)			
ワークショップ 「ワヤン・クリの人形を作ってみよう」(仮称)	調整中	インドネシアの影絵芝居ワヤン・クリで使用されている人形を製作するワークショップ。講師:調整中	
ワークショップ 「ガムランを演奏してみよう」(仮称)	調整中	インドネシアの青銅楽器「ガムラン」の演奏体験ができるワークショップ。講師:調整中	
ワークショップ 「チェンバロを弾いてみよう」(仮称)	調整中	鍵盤楽器「チェンバロ」に触れ、演奏体験ができるワークショップ。講師:調整中	
ワークショップ 「とり笛を作ろう！」	通年	ボール紙とストローでとり笛を作って音を出す。 講師:楽器博物館ボランティア、職員	

事業名		開催予定日	内容
移動博物館 (6事業)			
入野小学校	調整中	市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民へも公開して行う。令和8年度は、市内地域施設への移動博物館も実施。	
上阿多古小学校	調整中		
新津小学校	調整中		
中瀬小学校	調整中		
市内施設等	調整中		
市内施設等	調整中		
楽器整理・調査・情報発信 (9事業)			
常設展整備	通年	展示室、体験ルームの展示替えを行う。休館時には、今までできなかった展示台や大型楽器の展示替えも予定している。	
CD・図録等の制作・販売	通年	所蔵楽器音源のCD、所蔵楽器の図録、オリジナルグッズを販売する。図録については、リニューアルオープンに向け再編集する。	
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復を行う。	
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年2回程度。市内小中学校・公共施設等に配布する。	
公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信する。言語は英語、ポルトガル語、中国語、韓国語に対応。	
国際委員会への参加と発表	9月	国際博物館会議 (ICOM) の国際委員会の一つである ICOM MUSIC の年次大会へ参加。研究成果の発表だけでなく、多様なコミュニティに積極的に参加し、世界に関する知識を収集する。	
他施設での出張展示	通年	新東名サービスエリアで楽器や楽器に関する情報を展示し、音楽の都「浜松」と楽器博物館のPRを行う。 (ネオパーサ浜松 SA 下り)	
新規 所蔵品データベースのオンライン公開	通年	当館所蔵資料のアーカイブデータのジャパンサーチ及び I.B.MUSEUM 等のプラットフォームへの登録をすすめ、広く一般に公開する。	
バーチャル博物館の展開	通年	オンラインで館内を見学できるバーチャル楽器博物館を展開。来場が難しい方も、スマートフォンやパソコンから楽器博物館を楽しめる。	

事業名	開催予定日	内容
他博物館・教育研究機関等との連携 (5事業)		
静岡文化芸術大学との連携事業	通年	特別展に関する情報を、大学生が同年代に向けてSNS発信する。静岡文化芸術大学文化政策学部と連携。
静岡大学との連携事業	通年	収蔵楽器を3D化し、VR機器を利用して体験会を年に2回程度実施。静岡大学情報学部と連携。
科学館との協力事業	1月予定	ワークショップ「青色LEDを使った電子楽器（PBトーン）を作って演奏しよう」を共同で開催。製作を浜松科学館職員、演奏を当館職員が担当する。
音楽文化・芸能調査	通年	浜松市文化財課、静岡大学情報学部と連携し、市内又は日本の伝承民俗芸能の調査を行う。
教育機関及び各種団体との連携・協力等	通年	国内外の教育機関や関連する各種団体が主催する事業について連携または協力等を行う。
研修受け入れ (5事業)		
学芸員実習	9月	学芸員資格認定の必須科目である実習を、全国の大学より公募選考にて受け入れる。
インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
教職員研修	不定期	浜松市の教職員の研修を受け入れる。
中学生・高校生職場体験学習	通年	浜松市の中学生・高校生の職場体験を受け入れる。
中学校との共同授業	年1回程度	世界の楽器を通しての国際理解教育を提供する。

イ 浜松文芸館

運営の考え方

浜松文芸館は、浜松にゆかりのある文芸人の資料を収蔵・保存・研究し、その価値を広く市民に伝えることを目的として、展示事業を行っています。また、市民の文芸活動の拠点として、『浜松市民文芸』の発行をはじめ、各種講座、講演会、朗読会等の事業を実施しています。

生成AIの普及が進む今日において、自ら考え、書き、読み取る力の重要性は一層高まっているとの考えのもと、令和8年度は、「書くこと」「読むこと」の価値を市民が改めて実感できる事業に重点を置き、各事業を構成しました。

- ・展示事業では、70年以上にわたり市民が執筆・投稿してきた『浜松市民文芸』を取り上げ、その歩みと意義を紹介します。また、昭和32年の創刊から令和6年まで継続的に地域の文化情報を発信し、市民も発行に携わってきたミニタウン誌『浜松百撰』についても、昨年度に引き続き紹介します。
- ・講座事業については、これまでの市民ニーズを踏まえた内容を継続するとともに、新たに、文章を自ら書く力を育てる「文章教室」を開講します。
- ・講演会事業および朗読事業では、夏目漱石、山本周五郎、水上勉といった広く知られた作家を取り上げ、講師による多角的で新たな視点からの解説を通じて、文芸愛好者の裾野拡大を図ります。
- ・子ども向け事業においては、地域の大学生と連携した講座を夏期および秋期に企画し、『浜松市民文芸』への若年層の投稿促進に向けた取り組みを継続します。若い世代の文芸館事業への参画を進め、子どもから大人まで、各世代が親しめる施設運営を目指します。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (3事業)		
特別収蔵展 「俳人松島十湖没後100年記念 旧派の十湖・新派の加藤雪腸二人展」	4/1～6/14 (3/1～)	没後100年となる松島十湖、また彼と交流のあった加藤雪腸の生涯や作品などを紹介する。
収蔵展 「浜松市民文芸70年の歴史」	7/1～10/12	昭和31年創刊の市民文芸誌『浜松市民文芸』の70年の歴史を振り返る。
特別収蔵展 「浜松百撰の遺したもの パートⅡ」	11/1～2/7	令和6年3月で休刊となったタウン誌『浜松百撰』。通算796号を振り返り、特色ある記事や情報を紹介する。令和7年度に続き開催。
講座事業 (13事業)		
『源氏物語』入門講座	全6回	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の横笛から竹川までをよむ。講師:松平和久
くずし字解読入門講座	全6回	『理屈物語』の板本(版本)の読解に挑戦する。講師:勝田敏勝
川柳入門講座	全5回	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師:今田久帆
短歌入門講座	全5回	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師:柴田典昭
『源氏物語』講座	全6回	源氏物語と紫式部についてふれ、桐壺巻・帚木巻・空蝉巻・夕顔巻・若紫巻をよむ。講師:大石嘉美

事業名		開催予定日	内容
篆刻入門講座		全6回	文字を学習し、好きな言葉(四字熟語等)の印を作成。(初心者向け) 講師:下石哲幸
俳句入門講座 Ⅰ春・Ⅱ初夏・Ⅲ秋・Ⅳ初冬		各4回	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) Ⅰ:4月 講師:坂口秀子 Ⅱ:6月 講師:坪井孝之 Ⅲ:9月 講師:村松二本 Ⅳ:11~12月 講師:佐藤升子
『おくのほそ道』講座		全6回	日本海沿いを歩いた芭蕉が遺した数々の名句をじっくりと鑑賞する。 講師:勝田敏勝
新規 文章教室 (春の文章教室・秋の文章教室)		春期3回 秋期3回	文章の書き方のポイントを学ぶ。(春:4~6月、秋:9~11月) 講師:たかはたけいこ
朗読入門講座		全6回	短詩や随筆をよみながら、声に出すこと、表現することの楽しさを味わう。 講師:堤腰和余
朗読書講座		全6回	1冊の本を精読し、その世界を朗読で表現する。 講師:堤腰和余
『万葉集』講座		全6回	東歌勸国歌・防人歌・柿本人麻呂の長歌を中心によむ。 講師:松平和久
浜松文芸館出張講座 『おくのほそ道』		月1回	当館で実施している企画の中から、好評をいただいている講座を出張して実施する。(4~9月実施予定) 講師:勝田敏勝 会場:天竜壬生ホール
イベント事業 (2事業)			
朗読会 山本周五郎を読む「つゆのひぬま」		5/17	朗読を通して、山本周五郎作品を味わう。 講師:堤腰和余
朗読会 水上勉を読む「秋夜より」		10/18	朗読を通して、水上勉作品を味わう。 講師:堤腰和余
講演会事業 (2事業)			
夏目漱石『夢十夜』の魅力		5/9	夏目漱石『夢十夜』の魅力に迫る。 講師:折金紀男 朗読:余川千津子
高柳克弘講演会		11/14	切れ字の効果的な使い方を考える。 講師:高柳克弘
子ども向け事業 (4事業)			
夏休み絵本づくり講座		7/25	小学3年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成する。 講師:井口恭子
楽しいお話づくり講座		8/1	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることには挑戦する。 講師:井口恭子
夏休み読書感想文講座		8/3・7	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際に書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。 講師:林谷子

事業名		開催予定日	内容
新規 子ども講座 ① 本の世界を体験しよう ② 「オノマトペ」で表現の楽しさを体験しよう ③ 言葉のかくれんぼ遊びで脳トレをしよう		① 10/4 ② 11/1 ③ 11/8	小学3年生から6年生対象。読んだ本に関する工作体験や言葉遊びなどを通し、表現の面白さを体験する。 講師：池谷雅敏（浜松文芸館職員）
浜松市民文芸事業（1事業）			
第72集『浜松市民文芸』 作品募集・選考・編集・発行		9～3月	市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考し、優秀作品を『浜松市民文芸』として編集・発行する。
調査研究・保存・整理（1事業）			
資料の収集・研究・整理		通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等を行う。
教育機関との連携（3事業）			
入館者や学習見学者への案内・説明		通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
職場体験学習・フィールドワーク受入		通年	フィールドワーク（学外実習）希望者や、市内中高生の職場体験学習の受け入れなどを実施する。
インターンシップ実習		夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
クリエイトとのコラボ事業（2事業）			
フォト俳句・短歌展		1/23・24	クリエイト冬まつりの一環として、民間団体による写真展作品を題材に小・中・高校生が詠んだ俳句・短歌を同時展示する。
文芸館インフォメーションコーナーの開設		通年	クリエイト浜松1階に当館を紹介するコーナーとガチャ機を設置し、広く周知する。
その他事業（5事業）			
文芸館だより『いざない』発行		年4回	当館の展示や各講座、取組の様子、情報を順次紹介する。
浜松市文化振興財団自主出版 『風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ』販売		通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本を販売する。（500円/冊）
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売		通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本を販売する。 （2,037円/冊）
出版物・地域伝統品の販売		通年	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」等の地元工芸品を受託販売する。

事業名	開催予定日	内容	
	移動浜松文芸館	通年	当館で展示した一部資料や解説パネルを、市内図書館や学校に貸し出し、アウトリーチ展示する。

ウ 浜松市・市民ミュージアム浜北

運営の考え方

市民ミュージアム浜北は浜松市博物館の分館として、浜北地域を中心とした歴史的資料を展示し、地域の歩みを伝える資料館です。令和8年度は、情報の発信と体験の充実を図ります。

展示では、「浜北人骨」や鹿形埴輪「見返りの鹿」をはじめとする考古資料、織機など浜北地域の産業や暮らしを伝える資料を核とし、企画展を織り交ぜながら、地域の歴史・文化に関する情報発信に努めます。あわせて、浜北文化センターとの連携による一体的な広報や回遊性向上を図り、文化施設としての相乗効果を高めます。

これらの取り組みを通じて、市民ミュージアム浜北を、地域の文化を次代へつなぐ身近な学びの場として定着させていきます。

- ・市内文化団体や地域の活動を展示により紹介する企画展を開催し、来館を促すことで地域文化の発信を図ります。
- ・機織り体験や浜北の風車作り体験を実施するとともに、夏休み期間には特別体験コーナーを設け、来館者が「見る・感じる・知る・考える」学びの機会を提供します。
- ・リニューアルオープンを契機に開始した、展示品に関連するグッズの制作・販売を継続し、所蔵資料への理解と関心を深めるとともに、地域の歴史や文化に触れた体験を持ち帰り、学びにつなげる機会を創出します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業 (1事業)		
「機織り・浜北の風車づくり」体験コーナー	通年	当ミュージアムの展示にちなんだ機織りや浜北の風車づくりの体験を提供する。
自主事業 (3事業)		
企画展	通年	他施設や文化団体などによる企画展を開催することで来館を促し、地域の文化を発信する。
夏休み体験コーナー	8月	藍の叩き染め、弓矢体験など、夏休み期間に子どもが体験しながら学び、展示へのより深い理解を促す。
所蔵資料関連グッズの制作・販売事業	通年	所蔵資料をモチーフとしたグッズ等の制作・販売等を実施。話題性向上と来館者の裾野の拡大を図り、当ミュージアムの認知度アップにつなげる。

エ 浜松市秋野不矩美術館

運営の考え方

令和10年度に秋野不矩生誕120年を迎えることを見据え、令和8年度においても、秋野不矩の画業の顕彰と継承に取り組みます。

代表作をはじめとする本画の紹介にとどまらず、素描や下図、絵本作りなど、多様な創作活動にも光を当てることで、不矩作品の画業の幅広さと文化的価値を発信します。

また、表現者としての側面に加え、母親や教育者としての生き方、制作に向き合う厳しさと温かなまなざし、豊かな人的交流についても調査研究を進め、秋野不矩の実像に多面的に迫ります。

あわせて、不矩の精神性を建築で体現した本館および本館設計者・藤森照信の建築の魅力についても、さらなる顕彰と発信に努めます。

これらの取り組みを通じて、市民の創造的な生涯学習の推進、次世代の文化の担い手の育成、文化資源の継承を図るとともに、芸術文化を活用した地域社会の活性化に資する施設運営を目指します。

- ・所蔵品展では、秋野不矩芸術の位置付けをより明確に示し、作家の人間性や創作の根幹となる思想への理解を深める展示構成とします。
- ・特別展では、本館建築の空間的特性を生かした造形作家の作品展、不矩が愛した猫をテーマとした展覧会、京都風景を題材に日本画の魅力再認識する展示会の3企画を実施し、新たな美術ファン層の開拓を図ります。
- ・関連事業として、展示内容と連動したギャラリートーク、ワークショップ、ミュージアムコンサート等を実施し、美術や美術館になじみの少ない層の来館を促します。あわせて、地域と連携した事業やイベントに参画し、地域と市民に親しまれる施設運営を進めます。
- ・教育普及事業では、校外学習の受入れ、教員向け研修、インターンシップ等を通じて、地域の人材育成と文化の醸成に努めます。
- ・秋野不矩に関する研究および顕彰等においては、地域の研究者、浜松市美術館、一般社団法人秋野不矩の会、ご遺族等の関係機関と連携して進めます。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (8事業)	※展覧会名称・期間・出展作品は変更する場合があります。	
所蔵品展 (5事業)		
慈愛の心Ⅰ ～ 慈 ～	4/1～5/6	「慈」とは、対象を愛おしむ心を指す。不矩の優しさや温かさが感じられる表現に焦点をあて、色や形、線・構図等から創作の心根を探る。
慈愛の心Ⅱ ～ 悲 ～	5/26～6/21	「悲」とは、共感的に相手や対象を受け止める心を指す。不矩が対象にどのような価値を見出し共感のまなざしを向けていたのか、不矩の心眼を捉える。
慈愛の心Ⅲ ～ 喜 ～	9/1～9/30	「喜」とは、周囲の出来事や現象を自分の事として感受する心を指す。廃墟や遺跡の表現を通して、当時の人たちの思いに寄り添おうとした不矩の心の機微に迫る。
慈愛の心Ⅳ ～ 捨 ～	12/1～1/11	「捨」とは、表面的な変化や感情に囚われず広い視野で洞察しようとする心を指す。常に自己の気持ちと真摯に向き合い真理を追求した不矩の表現の根幹を見極める。
慈愛の心Ⅴ ～ 空 ～	3/20～	「空」とは、相互の繋がりや因果から、世の理を自身の感覚を通して感受しようとする心を指す。作品中に存在する静謐と均衡の表現から、不矩のゆるぎない「観」を洞察する。

事業名		開催予定日	内容
特別展 (3事業)			
	「中谷ミチコ展」(仮)	7/4～8/23	現代造形作家として注目されている中谷ミチコは、秋野不矩の創作テーマとの共通性がみられる。錯覚を利用した立体造形により、藤森建築が持つ空間的な魅力と新たな可能性を引き出し、若い世代や現代美術に関心を寄せる幅広い美術ファンの獲得を促す機会とする。
	「猫展」(仮)	10/10～11/23	猫好きとして知られる秋野不矩は、猫を題材とした作品を多く遺した。不矩の猫作品と共に、不矩の同世代以降の日本画家らが描いた多様な猫作品を3つのコレクションから紹介する。各作家の猫への愛情とまなざしに触れる。
	「京の百景」	1/23～3/14	京都の自然、風景、史跡、風俗、行事などの魅力を後世に伝えるため、京都府が日本画家に制作を委嘱した作品群(昭和46年から2年間で制作)から、約50点を厳選して紹介する。不矩作品「平安神宮」も展示予定。
展覧会関連事業・教育普及事業 (6事業)			
	館内ギャラリートーク・団体向け見学前ガイド	通年	館長や学芸員による見学前ガイドや展示室内でのギャラリートーク。秋野不矩の人物像や表現の変遷、藤森建築、特別展の内容をより理解いただく、対話型鑑賞を実施する。
	展覧会関連講演会・講座	調整中	特別展出品関係者や展示テーマに係る専門家、館長、学芸員等による講演会や講座。秋野不矩や特別展に関するテーマを取り上げる。
	ワークショップ事業	調整中	特別展開催期間や長期休暇期間中に子供向けの表現に親しむワークショップを開催する。
	教育プログラムの受け入れ	通年	小中高生対象の職場体験学習、校外学習、教員の資質向上研修などの教育プログラムの受け入れを行う。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
	秋野不矩生誕120年記念展準備	通年	令和10年度(2028)開催予定の秋野不矩生誕120年記念展に向け準備を進める。
地域連携・広報・その他事業 (6事業)			
	ミュージアムコンサート	調整中	美術館の空間に合った音を奏でる演奏家を起用した館内ミニコンサート。作品を鑑賞しながら音楽も楽しんでいただき、音楽ファンなど新規層の来館を促す。
	市民ギャラリーの貸出及び利用者支援	通年	当館企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し、市民の創作活動の発表の場とする。また、展覧会広報を含む開催支援も行う。

事業名		開催予定日	内容
	浜松市美術館「市展」への協力	年1回	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務を行う。
	地域等との協働連携事業	通年	天竜地域の産業、商店街等と連携したグッズの開発・販売及び教育機関等との連携事業を行う。
	公式ホームページサイトの管理運営及びSNSによる情報発信	通年	公式ホームページの管理運営及びXやInstagram等を活用した情報発信を行う。
	売店事業	通年	図録、ハガキ、グッズ等の販売及び在庫管理を行う。地元工場の工芸品も取扱う。
調査研究・保存・整理 (1事業)			
	作品および資料の収集・研究・整理	通年	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集を行う。

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 事務局体制

ア 職員数（令和8年4月1日現在）

令和8年度は、アクトシティ浜松研修交流センター及び浜松市楽器博物館のリニューアルオープン並びに育児休業取得職員等の状況をふまえ、職員の人数調整を実施しています。

■当初予算比較

(単位：人または千円)

	令和8年度	令和7年度	増減
市派遣職員（常勤役員）	-	-	-
市派遣職員	1	1	0
常勤役員	1	1	0
正規職員	45	43	2
契約職員	11	8	3
嘱託員	40	37	3
職員数合計 ※	98	90	8
職員人件費	547,920	537,767	10,153

※令和8年4月1日の実配置人数です。（当初予算策定時の予定人数から変更あり）

■当初人員比較

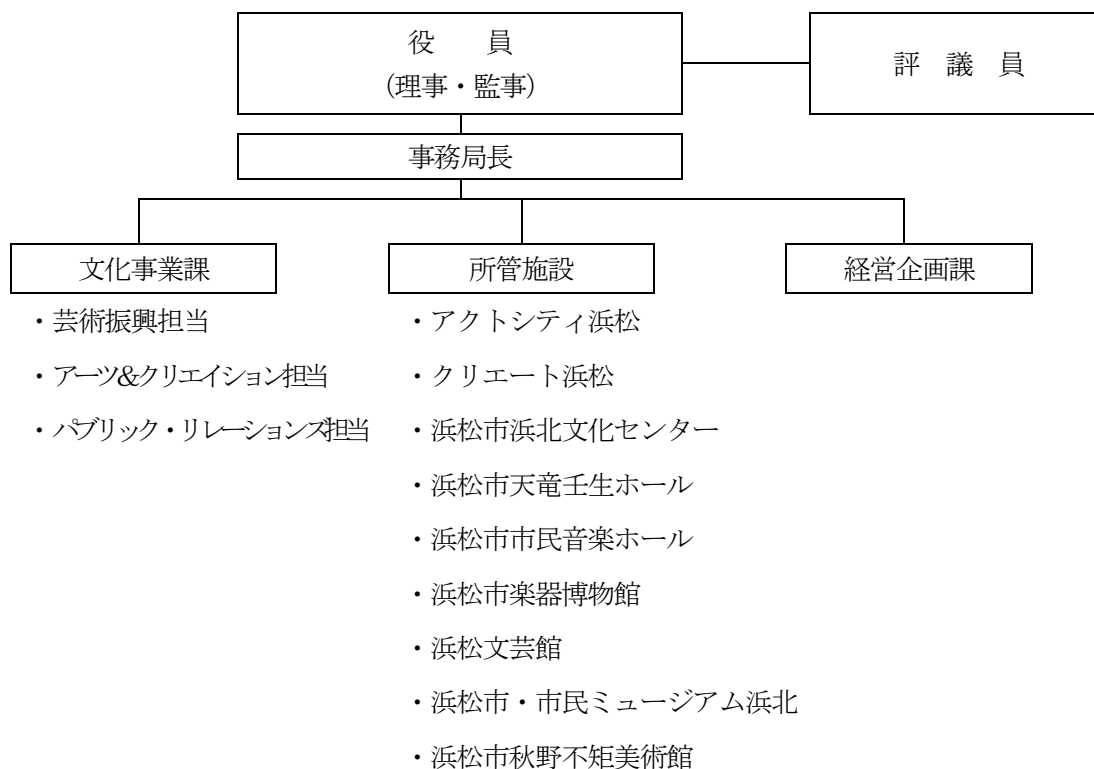
(単位：人)

	令和8年度	令和7年度	増減
常務理事	1	1	0
事務局長	1	1	0
文化事業課	24	24	0
アクトシティ浜松	18	16	2
クリエート浜松	7	7	0
浜松市浜北文化センター、浜松市・市民ミュージアム 浜北	6	5	1
浜松市天竜壬生ホール	4	4	0
浜松市市民音楽ホール	6	6	0
浜松市楽器博物館	11	10	1
浜松文芸館	3	3	0
浜松市秋野不矩美術館	4	4	0
経営企画課	13	9	4
合計	98	90	8

イ 組織体制

組織体制は、文化事業課、所管施設及び経営企画課で構成します。

令和8年度組織図



(2) 利用料金収入の目標達成（当初予算比較）

施設の改修工事に伴う休館による影響などを見込んだ利用料金収入額の設定とします。

(単位：千円)

指定管理施設	令和8年度	令和7年度	増減
アクトシティ浜松	675,656	632,745	42,911
クリエート浜松	53,750	52,128	1,622
浜松市浜北文化センター	63,540	47,840	15,700
浜松市天竜壬生ホール	8,800	7,566	1,234
浜松市市民音楽ホール	-	-	-
浜松市楽器博物館	31,931	26,667	5,264
浜松文芸館	408	408	0
浜松市秋野不矩美術館	11,100	11,000	100
合計	845,185	778,354	66,831

※アクトシティ浜松は、施設改修工事に伴い一部施設が休館します。

※浜松市市民音楽ホールは利用料金制度が導入されていません。

※浜松市楽器博物館は、施設改修工事に伴い4～7月上旬まで休館します。

(3) 管理業務の見直し

保守などに関しては、物価上昇による影響が大きいなか、適切な施設管理を最優先に考え、コストと効率性を意識しながら経費削減に努めます。

設備等保守業務に係る委託額の比較（当初予算額対比）

（単位：千円）

指定管理施設	令和8年度	令和7年度	増減	主なもの
アクトシティ浜松	399,674	408,709	△ 9,035	舞台管理・設備保守業務等
クリエート浜松	67,877	65,827	2,050	舞台管理・設備保守業務等
浜松市浜北文化センター、 浜松市・市民ミュージアム浜北	80,122	73,649	6,473	舞台管理・設備保守業務等
浜松市天竜壬生ホール	25,351	22,189	3,162	舞台管理・設備保守業務等
浜松市市民音楽ホール	49,926	50,100	△ 174	舞台管理・設備保守業務等
浜松市楽器博物館	1,438	1,660	△ 222	音響機器保守、機械警備業務等
浜松文芸館	253	234	19	情報通信設備保守業務
浜松市秋野不矩美術館	13,521	13,084	437	設備保守・清掃・燻蒸業務等
合計	638,162	635,452	2,710	

※浜松市浜北文化センター、浜松市・市民ミュージアム浜北は、令和7年度の7月に大規模改修工事が完了し、開館したため設備などの保守業務が拡大します。

(4) 資産運用による安全で効率的な財源の確保

基本財産の活用にあたっては、浜松市の指導のもと、財団資産運用規程に基づき、安全かつ効率的な運用を図ります。

(5) 外部監査による透明性の確保

監査法人による外部監査を行うことにより、公益法人会計基準に則った会計処理の徹底を図るとともに、財団運営の透明性を確保します。

(6) 内部通報窓口及び外部公益通報窓口の設置

法人内に内部通報窓口を設置するとともに法律事務所による公益通報窓口を外部に設置し、不正行為の予防または早期対応を図り、適正な職場環境の推進と法人運営に努めます。

令和 8 年度

予 算 の 状 況

令和8年度 公益財団法人浜松市文化振興財団 収支予算書

令和8年度公益財団法人浜松市文化振興財団の予算は次に定めるところによる。

収支予算書 (損益ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	12,160	8,760	3,400
基本財産運用益計	12,160	8,760	3,400
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	5,036	3,067	1,969
特定資産運用益計	5,036	3,067	1,969
③ 事業収益			
入場料収益	54,160	39,434	14,726
チケット手数料収益	2,930	2,926	4
イベント関連収益	12,866	16,448	△ 3,582
協賛金・共催事業収益	21,349	5,457	15,892
受取会費	10,000	10,000	0
広告料収益	1,460	1,554	△ 94
使用料収益	6,470	6,015	455
手数料収益	12,341	10,906	1,435
図書販売収益	105	114	△ 9
売上収益	3,294	4,112	△ 818
施設利用料金収益	749,689	702,646	47,043
観覧料収益	42,531	37,167	5,364
事業収益計	917,195	836,779	80,416
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,288,491	1,331,915	△ 43,424
受取指定管理料等計	1,288,491	1,331,915	△ 43,424
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	170,034	165,124	4,910
受取受託金計	170,034	165,124	4,910
⑥ 受取負担金			
受取事業市負担金	75,804	82,973	△ 7,169
受取負担金計	75,804	82,973	△ 7,169
⑦ 受取寄付金			
受取寄付金	100	100	0
受取仲道子供音楽事業資産振替額	5,653	1,794	3,859
受取事業基金振替額	7,179	1,587	5,592
受取オークラ助成事業資産振替額	600	750	△ 150
受取寄付金計	13,532	4,231	9,301
⑧ 雑収益			
受取利息	1,225	225	1,000
雑収益	670	725	△ 55
雑収益計	1,895	950	945
経常収益計	2,484,147	2,433,799	50,348

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	4,055	3,967	88
給料手当	377,468	370,366	7,102
臨時雇賃金	50,438	47,306	3,132
退職給付費用	21,614	24,104	△ 2,490
福利厚生費	69,877	68,085	1,792
交際費	14	40	△ 26
会議費	60	80	△ 20
懇談会費	277	1,616	△ 1,339
旅費交通費	12,912	21,973	△ 9,061
通信運搬費	9,439	10,892	△ 1,453
減価償却費	10,630	10,479	151
消耗什器備品費	3,259	3,320	△ 61
消耗品費	25,854	27,215	△ 1,361
修繕費	16,462	16,274	188
印刷製本費	27,378	24,292	3,086
燃料費	380	376	4
光熱水料費	57,361	55,072	2,289
使用料賃借料	32,448	38,045	△ 5,597
保険料	4,046	3,924	122
諸謝金	41,688	44,229	△ 2,541
租税公課	63,511	58,333	5,178
支払負担金	762,306	736,341	25,965
支払助成金	5,186	5,485	△ 299
委託費	783,464	769,756	13,708
手数料	13,984	12,532	1,452
広告料	18,202	16,379	1,823
商品仕入	1,483	2,290	△ 807
支払利息	200	440	△ 240
事業費計	2,413,996	2,373,211	40,785
② 管理費			
役員報酬	3,629	3,571	58
給料手当	59,797	56,163	3,634
退職給付費用	1,965	2,528	△ 563
福利厚生費	10,441	9,909	532
交際費	80	80	0
旅費交通費	250	250	0
通信運搬費	290	250	40
減価償却費	1,822	1,822	0
消耗品費	160	160	0
印刷製本費	50	50	0
使用料賃借料	120	120	0
保険料	754	744	10
諸謝金	70	70	0
租税公課	1,088	1,073	15

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
支払負担金	510	510	0
委託費	10,244	10,144	100
手数料	2,460	2,460	0
支払利息	93	120	△ 27
管理費計	93,823	90,024	3,799
経常費用計	2,507,819	2,463,235	44,584
当期経常増減額	△ 23,672	△ 29,436	5,764
当期一般正味財産増減額	△ 23,672	△ 29,436	5,764
一般正味財産期首残額	3,284,315	3,238,326	45,989
一般正味財産期末残額	3,260,643	3,208,890	51,753
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	474	237	237
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 13,906	△ 4,368	△ 9,538
当期指定正味財産増減額	△ 13,432	△ 4,131	△ 9,301
指定正味財産期首残高	189,398	191,099	△ 1,701
指定正味財産期末残高	175,966	186,968	△ 11,002
III 正味財産期末残高	3,436,609	3,395,858	40,751

収支予算書内訳表 (損益ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	6,080	0	6,080	0	12,160
基本財産運用益計	6,080	0	6,080	0	12,160
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	2,325	3	2,708	0	5,036
特定資産運用益計	2,325	3	2,708	0	5,036
③ 事業収益					
入場料収益	54,160	0	0	0	54,160
チケット手数料収益	2,930	0	0	0	2,930
イベント関連収益	12,866	0	0	0	12,866
協賛金・共催事業収益	21,349	0	0	0	21,349
受取会費	10,000	0	0	0	10,000
広告料収益	1,460	0	0	0	1,460
使用料収益	6,384	86	0	0	6,470
手数料収益	12,215	126	0	0	12,341
図書販売収益	105	0	0	0	105
売上収益	3,294	0	0	0	3,294
施設利用料金収益	736,510	14,189	0	1,010	749,689
観覧料収益	42,531	0	0	0	42,531
事業収益計	903,804	14,401	0	1,010	917,195
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,189,233	14,232	85,026	0	1,288,491
受取指定管理料等計	1,189,233	14,232	85,026	0	1,288,491
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	170,034	0	0	0	170,034
受取受託金計	170,034	0	0	0	170,034
⑥ 受取負担金					
受取事業市負担金	75,804	0	0	0	75,804
受取負担金計	75,804	0	0	0	75,804
⑦ 受取寄付金					
受取寄付金	100	0	0	0	100
受取仲道子供音楽事業資産振替額	5,653	0	0	0	5,653
受取事業基金振替額	7,179	0	0	0	7,179
受取オークラ助成事業資産振替額	600	0	0	0	600
受取寄付金計	13,532	0	0	0	13,532
⑧ 雑収益					
受取利息	0	0	1,225	0	1,225
雑収益	665	5	0	0	670
雑収益計	665	5	1,225	0	1,895
経常収益計	2,361,477	28,641	95,039	1,010	2,484,147

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	4,027	28	0	0	4,055
給料手当	375,863	1,605	0	0	377,468
臨時雇賃金	50,273	165	0	0	50,438
退職給付費用	21,542	72	0	0	21,614
福利厚生費	69,579	298	0	0	69,877
交際費	14	0	0	0	14
会議費	60	0	0	0	60
懇談会費	277	0	0	0	277
旅費交通費	12,907	5	0	0	12,912
通信運搬費	9,385	54	0	0	9,439
減価償却費	10,411	219	0	0	10,630
消耗什器備品費	3,224	35	0	0	3,259
消耗品費	25,673	181	0	0	25,854
修繕費	16,270	192	0	0	16,462
印刷製本費	27,364	14	0	0	27,378
燃料費	374	6	0	0	380
光熱水料費	57,356	5	0	0	57,361
使用料賃借料	32,230	218	0	0	32,448
保険料	3,997	49	0	0	4,046
諸謝金	41,667	21	0	0	41,688
租税公課	62,895	616	0	0	63,511
支払負担金	746,609	15,697	0	0	762,306
支払助成金	5,186	0	0	0	5,186
委託費	775,071	8,393	0	0	783,464
手数料	13,905	79	0	0	13,984
広告料	18,200	2	0	0	18,202
商品仕入	1,483	0	0	0	1,483
支払利息	196	4	0	0	200
事業費計	2,386,038	27,958	0	0	2,413,996
② 管理費					
役員報酬	0	0	3,629	0	3,629
給料手当	0	0	59,797	0	59,797
退職給付費用	0	0	1,965	0	1,965
福利厚生費	0	0	10,441	0	10,441
交際費	0	0	80	0	80
旅費交通費	0	0	250	0	250
通信運搬費	0	0	290	0	290
減価償却費	0	0	1,822	0	1,822
消耗品費	0	0	160	0	160
印刷製本費	0	0	50	0	50
使用料賃借料	0	0	1,130	1,010	120
保険料	0	0	754	0	754
諸謝金	0	0	70	0	70
租税公課	0	0	1,088	0	1,088

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
支払負担金	0	0	510	0	510
委託費	0	0	10,244	0	10,244
手数料	0	0	2,460	0	2,460
支払利息	0	0	93	0	93
管理費計	0	0	94,833	1,010	93,823
経常費用計	2,386,038	27,958	94,833	1,010	2,507,819
当期経常増減額	△ 24,561	683	206	0	△ 23,672
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 24,561	683	206	0	△ 23,672
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 24,561	683	206	0	△ 23,672
一般正味財産期首残額	1,716,612	77,946	1,489,757	0	3,284,315
一般正味財産期末残額	1,692,051	78,629	1,489,963	0	3,260,643
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	474	0	0	0	474
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 13,906	0	0	0	△ 13,906
当期指定正味財産増減額	△ 13,432	0	0	0	△ 13,432
指定正味財産期首残高	189,398	0	0	0	189,398
指定正味財産期末残高	175,966	0	0	0	175,966
III 正味財産期末残高	1,868,017	78,629	1,489,963	0	3,436,609

予定貸借対照表

令和9年3月31日現在

(単位：千円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,598	1,598	0
普通預金	423,955	423,732	223
定期預金	100,000	100,000	0
未収金	134,288	134,288	0
未収利息	2,852	2,849	3
前払金	2,998	2,998	0
立替金	170	170	0
棚卸資産	5,275	4,941	334
貸倒引当金	△ 26	△ 26	0
流動資産計	671,110	670,550	560
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,790,000	1,790,000	0
定期預金	349,769	349,769	0
基本財産計	2,139,769	2,139,769	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	379,726	353,094	26,632
事業基金	175,966	183,145	△ 7,179
広域文化基金	5,581	8,119	△ 2,538
ピアノコンクール積立資産	135,000	135,000	0
大型公演事業積立資産	140,000	156,000	△ 16,000
仲道子供音楽事業資産	0	5,653	△ 5,653
文化芸術活動助成事業積立資産	17,523	20,023	△ 2,500
退職給付引当率増対策積立資産	36,735	39,369	△ 2,634
オークラ助成事業資産	0	600	△ 600
40周年記念事業積立資産	20,000	20,000	0
運用財産積立資産	400,000	400,000	0
特定資産計	1,310,531	1,321,003	△ 10,472
(3) その他固定資産			
建物附属設備	0	0	0
什器備品	0	0	0
ソフトウェア	528	739	△ 211
リース資産	11,825	23,901	△ 12,076
その他固定資産計	12,353	24,640	△ 12,287
固定資産計	3,462,653	3,485,412	△ 22,759
資産合計	4,133,763	4,155,962	△ 22,199
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	152,809	152,809	0
前受金	96,196	96,196	0
預り金	22,918	22,918	0
リース債務	6,545	12,227	△ 5,682
賞与引当金	32,922	32,422	500
役員賞与引当金	541	541	0
流動負債計	311,931	317,113	△ 5,182

(単位：千円)

科目	当年度	前年度	増減
2 固定負債			
リース債務	5,497	12,042	△ 6,545
退職給付引当金	379,726	353,094	26,632
固定負債計	385,223	365,136	20,087
負債合計	697,154	682,249	14,905
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
事業基金	175,966	183,145	△ 7,179
仲道子供音楽事業資産	0	5,653	△ 5,653
オークラ助成事業資産	0	600	△ 600
指定正味財産計	175,966	189,398	△ 13,432
(うち特定資産への充当額)	(175,966)	(189,398)	(△13,432)
2 一般正味財産	3,260,643	3,284,315	△ 23,672
(うち基本財産への充当額)	(2,139,769)	(2,139,769)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(754,839)	(778,511)	(△23,672)
正味財産合計	3,436,609	3,473,713	△ 37,104
負債及び正味財産合計	4,133,763	4,155,962	△ 22,199

資金計画

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度予算額
1 受入資金	
1 基本財産運用収入	12,160
2 特定資産運用収入	5,036
3 事業収入	917,195
4 指定管理料等収入	1,288,491
5 受託金収入	170,034
6 負担金収入	75,804
7 寄付金収入	100
8 特定資産取崩収入	37,104
9 雑収入	1,895
当期収入合計	2,507,819
前期繰越収支差額	390,864
収入合計	2,898,683
2 支払資産	
1 事業費支出	2,381,752
2 管理費支出	90,036
3 特定資産取得支出	23,579
4 リース債務返済支出	12,229
当期支出合計	2,507,596
当期収支差額	223
次期繰越収支差額	391,087

給与費明細書

区 分	職 員 数	給 与				福 利 厚生費等※4	合 計	
		報 酬	給 与	職員手当	計			
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
本年度 当 初 予算額	財団職員等 ※1、2	94 人	6,758	280,792	145,222	432,772	102,209	534,981
	非常勤役員等 ※3	21 人	926	-	-	926	-	926
	市派遣職員	1 人	-	6,640	4,611	11,251	1,688	12,939
	合 計 ※2	116 人	7,684	287,432	149,833	444,949	103,897	548,846
前年度 当 初 予算額	財団職員等 ※1、2	90人	6,612	273,228	153,301	433,141	104,626	537,767
	非常勤役員等 ※3	21人	926	-	-	926	-	926
	市派遣職員	-	-	-	-	-	-	-
	合 計 ※2	111人	7,538	273,228	153,301	434,067	104,626	538,693
比 較	財団職員等 ※1、2	4人	146	7,564	△ 8,079	△ 369	△ 2,417	△ 2,786
	非常勤役員等 ※3	-	-	-	-	-	-	-
	市派遣職員	1人	-	6,640	4,611	11,251	1,688	12,939
	合 計 ※2	5人	146	14,204	△ 3,468	10,882	△ 729	10,153
職 員 手 当 内 訳		千円				千円		
	扶養手当	5,064		時間外手当	15,779			
	通勤手当	7,539		管理職手当	12,700			
	住居手当	4,445		期末勤勉手当	101,966			
	特殊勤務手当	2,340						
				計	149,833			

※1 財団職員等には、常勤役員、正規職員、契約職員、嘱託員を含みます。

※2 当初予算策定時の予定人数です。(4月1日の実配置人数は変更)

※3 非常勤役員等には、非常勤の理事、監事、評議員を含みます。

※4 福利厚生費等には、退職給付費用を含みます。